

令和6年

第18回福岡県教育委員会会議（臨時会）会議録

日 時	令和6年10月25日（金）
	開会 16時15分 閉会 16時40分
場 所	福岡県庁4階 教育委員会会議室

【議事等】

1 その他

- (1) 令和6年9月定例県議会について

【内 容】

1 出席者

教育長：寺崎雅巳

委 員：木下比奈子、堤康博、久保竜二、松浦賢長、西田久美

2 欠席者

なし

3 出席職員

副教育長 上田哲子、教育監 古賀浩利、理事兼教育総務部長 松永一雄、教育振興部長 田中直喜、副理事兼総務企画課長 綾部耕士、教職員課長 中嶋健一、施設課長 山田隆行、義務教育課長 古島裕太 外

4 傍聴者等数

2名

5 議事録

【寺崎教育長】

定足数に達しておりますので、ただ今から第18回教育委員会会議臨時会を開催します。

傍聴人に申し上げます。受付で配付された「傍聴人の留意事項」を遵守し、会議進行の妨げにならないよう御協力ください。

まず、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項に「教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員がその職務を行う」と規定されています。

つきましては、私に事故があった場合等に事務に支障をきたすことのないように職務代理者として木下委員を指名したいと思います。

よろしくお願いいたします。

それでは、本日の案件につきましては、お手許に配布している資料のとおりです。

審議に入る前に、非公開発議の有無を確認します。

本日の案件の中で、非公開で審議することが適当なものはないでしょうか。

＜ 発 議 な し ＞

【寺崎教育長】

ないようですので、以上で非公開発議の確認を終わります。

よって、本日の会議は、公開にて審議いたします。

それではまず、その他（１）「令和６年９月定例県議会について」を上田副教育長、お願いします。

○その他（１） 令和６年９月定例県議会について

【上田副教育長】

その他（１）令和６年９月定例県議会についてでございます。

＜上田副教育長が資料に沿って説明＞

【上田副教育長】

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【寺崎教育長】

御意見や御質問等はありませんか。

【堤委員】

２点お尋ねいたします。

１点目は、１ページの①「子ども性暴力防止法に対する認識について」です。国の特定免許失効者管理システムを活用していると答弁されていますが、このシステムに登録されていない、本人がこれまでに私生活で行った性暴力等があった場合は、どのような形で把握しているのか教えてください。

２点目は、５ページの⑥「県立学校等の体育館へのエアコン設置状況と今後の整備方針について」です。ここに記載されてあるエアコンの設置状況は体育館のみですが、教室のエアコン設置状況はどのような状況なのか教えてください。

【中嶋教職員課長】

１点目の「子ども性暴力防止法に対する認識について」でございます。まず、採用時に志願書を出す際、過去に懲戒を受けたような事例については本人から必ず申告をしてもらうこととしております。しかし、法的な機関に照会をかけるといったレベルでは採用前に把握することは出来ておりません。

答弁に記載しておりますように、免許所有者が免許を管理する中で、過去にわいせ

つ事案で懲戒処分を受けたような、免許を取り上げているといったデータを全国で共有しているもので、他県の情報を見ることはできますが、洩れなく、法的機関としての証明ということには今至っておりません。面接などで確認するだけです。

【堤委員】

教員免許状を取得した後の性暴力等を把握するということですか。

【中嶋教職員課長】

はい、その通りです。

【堤委員】

では、教員免許状取得前の性犯罪歴等については、特に申告の必要も無いということですね。

【中嶋教職員課長】

そうです。免許状取得という意味では、性犯罪歴について申告の機会が無いということになります。今回のこども性暴力防止法で、過去の犯罪歴が照会で確認できるようになったということになります。

【堤委員】

わかりました。

【山田施設課長】

2点目の県立学校等のエアコン設置状況についてでございます。県立学校の普通教室は100%設置をしております。また、パソコン教室や音楽教室等の特別教室につきましては、県立の中学校及び特別支援学校につきましては100%、県立高校につきましては、59.9%の設置率となっております。

【堤委員】

ありがとうございます。

【寺崎教育長】

他にございませんか。

【久保委員】

先ほどの5ページの⑥に関するエアコンの設置状況についてですが、1校あたりの

体育館にかかるエアコンの設置費用と年間の維持管理費用はおよそどのくらいかかるのでしょうか。

【山田施設課長】

現在、特別支援学校への設置を進めておりまして、およそ1校あたりの設置費用が4,000万円ほどかかります。また、電気代につきましては、文部科学省が公表したデータによりますと、断熱性の有る体育館では年間およそ140万円、断熱性が無い体育館では年間およそ280万円程度となっております。

【久保委員】

ありがとうございます。

【寺崎教育長】

他にございませんか。

【木下委員】

20ページの①「ICTを活用した国際交流について」ですが、今は自宅からネットを使った英語のレッスンも増えてきているので、1人1台タブレットを活用したオンライン交流をもっと行ってもいいと思います。

また、ハワイの姉妹校やオーストラリア、ケニアといった英語を母国語としている児童からすると、英語だけでやり取りをしてもあまり楽しくないのではないかと思います。それよりも、例えばローマ大学日本語学科といった海外で日本語を勉強している学生と、日本語・英語双方向から教え合うといったお互いが楽しめるような取り組みができればと考えますが、今後、タブレットを使った交流が広がる可能性はあるのでしょうか。

【古島義務教育課長】

委員のおっしゃる通り、このようなオンラインを活用した取り組みが今後広まっていくことを期待すると共に、県としても何ができるのか考えていきたいというような状態でございます。その上で、今回質問のあった内容はオンラインによる国際交流というところでしたのでこのような答弁をいたしました。授業としてもオンラインの英会話、例えばフィリピンのセブ島などと繋ぐといった事例も各地で見られているところでございますし、今後もしかしたらAIを使ったものもあるかもしれません。そのような可能性も含め、1人1台タブレットもありますので、何が効果的か県教育委員会としてもしっかり検討していきたいと考えております。

国際交流につきましても委員のおっしゃる通り、ハワイの例ですと、一応、日本の

児童側が英語で説明して、ハワイの児童が日本語で喋るというような事例もあります。他県では台湾で、セカンドランゲージ同士で繋ぐという事例もあると聞いております。しかし課題といたしましては、答弁にも記載しておりますが、時差の問題とあとコーディネートする人材の問題もあるということでございますので、そういった点も含めて研究していきたいと考えております。

【木下委員】

ありがとうございます。

【寺崎教育長】

他にございませんか。

< な し >

【寺崎教育長】

特にないようですので、本案件については、終了いたします。

本日の会議の案件は以上でございます。これで会議を終了いたします。

(1 6 : 4 0)